

プロトコール名	1クールの日数	放射線治療
乳癌ペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法(補助療法)	21日	■なし □あり

投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)
day1	① 生食50mL プライミング用 ② ペルツズマブ 420mg/body +生食250mL ペルツズマブ初回導入時は840mg/body 初回導入時のみ60分で投与し、2回目以降問題なければ30分で投与可。 ③ 生食50mL フラッシュ用 ④ トラスツズマブ 6mg/kg +生食250mL トラスツズマブ初回導入時は8mg/kg 初回導入時のみ90分で投与し、2回目以降問題なければ30分で投与可。 ⑤ 生食50mL フラッシュ用 ⑥ グラニセトロンバッグ1mg 50mL+ デキサメタゾン6.6mg ⑦ ドセタキセル 75mg/m ² +5% ブドウ糖 250mL ⑧ 生食50mL フラッシュ用
コメント	ペルツズマブは初回導入時のみ、840mg/bodyで投与し、以後は420mg/bodyで投与。トラスツズマブは初回導入時のみ、8mg/kgで投与し、以後は6mg/kgで投与。ペルツズマブ、トラスツズマブともに、初回治療にてアレルギー症状がなければ投与時間の短縮が認められている。投与期間は12カ月まで。

プロトコールに関する解説
乳癌ペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法は、HER2陽性転移・再発乳癌の治療もしくは早期乳癌の術前・術後化学療法として行われる治療法です。転移・再発乳癌の場合は、3週毎に点滴を繰り返します。早期乳癌の術前・術後化学療法の場合は、基本的にはアンスラサイクリン系抗癌剤を用いた化学療法に引き続いて本法を3週毎に4サイクル投与し、ドセタキセルを除いたペルツズマブ+トラスツズマブは計1年間投与します。ペルツズマブおよびトラスツズマブには心臓への副作用のリスクがあるため、動悸や息切れなどの症状には注意が必要です。